

野津田公園の上の原広場西側の平地（通称「上の原はらっぱ」）における

暫定駐車場建設工事を中止することを求める請願

請願要旨

野津田公園は“スポーツと里山”という基本構想を積極的に打ち出し、幅広い層の人たちに愛される総合公園です。

野津田公園は、1980年に総合公園として都市計画決定され、82年に運動施設を中心とした基本計画が発表され、用地買収が始まりました。しかし、自然環境を重視した計画へ変更を求める市民の声が高まり、町田市は90年に計画見直しを意思表示。93年に市が発表した第2期基本計画の基本方針に“ふるさとの自然と文化を守り育てる公園”の一項目が加わりました。

また、97年には、先行整備エリアとなっていた上の原地区の原っぱ保全の要望書も提出されました。市は市民の声を受けて計画を見直し、残り少なくなった草地在保全されることになりました。生物多様性のための里山保全は国際的な流れでもあり、都市公園の今日的な大きなテーマです。上の原地区の原っぱは里山保全エリアとして市民共働で保全に努めている所です。原っぱの周辺には幼稚園、保育園が多数存在し、子どもたちの貴重な遊び場でもあり、また日常的な憩いの場、癒しの場として多くの市民に親しまれ愛されています。

ところが、そのような経緯によって残されてきた「上の原はらっぱ」と言われる草地に、砂利を敷き詰めた暫定駐車場を建設する工事が本年3月8日（木）朝突然に始められました。地域住民をはじめ市民・公園利用者、これまで長年に渡り市当局との協力関係を築いて里山の自然を守り育てて来た関係者に一切知らせることなく、草地に重機を導入して駐車場整備を行おうとしたのです。

公園緑地課によればこの計画は3月5日（月）に決定されたとのことですが、3月7日に行なわれた指定管理者（SPM）主催による「野津田公園運営協議会」においても、市側の担当者が出席していたにもかかわらず、何の報告も説明もなされませんでした。私たちはこのような一方的で強行なやり方に大変な驚きと危惧を抱いています。

工事がはじめられた日、たまたまその場に居合わせた市民数名が工事の中止を申し入れ、工事請負業者に工事をやめてもらいました。それから現在にいたるまで見守りを継続しています。

この問題については、事態発生の当初から、新聞、テレビなど複数のメディアに取り上げられ、市の場合当たり前の強行なやり方に、市内外から驚きの声が上がっています。市担当者によると、連日20件程の問い合わせや意見が寄せられているとのこと。地域住民、公園利用者のネットワークも生まれ、「原っぱを守りたい」と活動しています。たとえ暫定的工事であれ、一旦失われた自然は容易に回復しません。市が市民に「里山として残す」と約束したエリアにある当該地を、市民に何の知らせもなく駐車場に変えてしまうことは許されません。

当初の計画では駐車場増設は公園西側に行なわれることになっていたはずで、その予算も通っています（2011年3月議会）。よって、当初の計画にない上の原広場西側の平地（通称「上の原はらっぱ」）における暫定駐車場建設工事を中止することを求める請願をいたします。

請願項目

1. 当初の計画にない上の原広場西側の平地（通称「上の原はらっぱ」）における暫定駐車場建設工事を直ちに中止してください。
2. 駐車場は、当初の計画通り公園西側に建設してください。
3. 市民の声で上の原の草地を残してきた経緯を大切にして、今後も市民と共に公園づくりを行なってください。